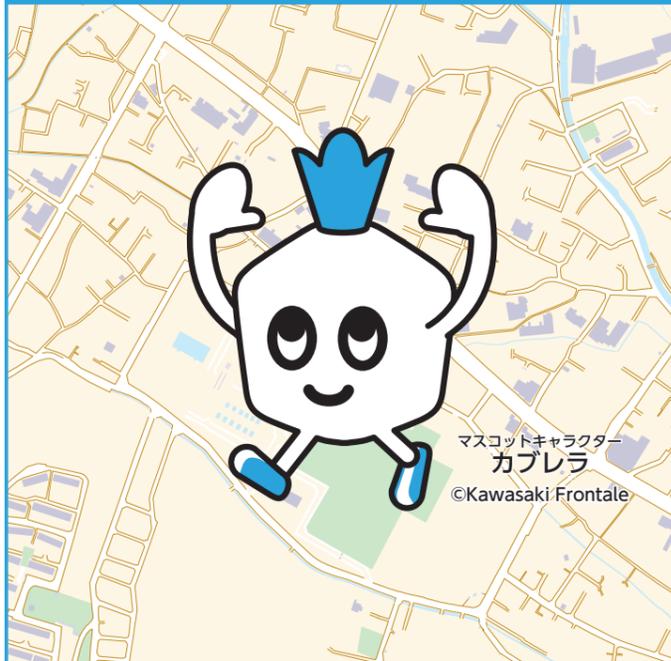


Anker フロントタウン生田 バリアフリーマップ



マスコットキャラクター
カブレラ
©Kawasaki Frontale



©2023 Fujitsu Limited

Anker フロントタウン生田について

スポーツでつなぐ、市民交流の場

Anker フロントタウン生田は、川崎フロンターレが運営する「楽しいスポーツとコミュニケーションの複合施設」です。誰もがスポーツに気軽に触れられる場を提供し、豊かなスポーツ文化の振興および市民の心身の健全な発展に寄与します。

フロンターレサッカースクール

サッカースクールでは、「川崎の原石を磨く」をコンセプトとし、スクール生一人一人の土台を築き、一人一人の特徴を伸ばすことに主眼をおき、活動しています。



フロントタウンフィットネス（健康教室）

自身の「健康」に寄り添う施設として、地域の方に気軽に参加いただける健康教室（フィットネス）を毎日開催しています。28種類ものプログラムの中からご自身に合ったものをお選びいただけます。



かわさきフロントタウン構想

～川崎の街と人がもっと元気になる未来、つくります～

「かわさきフロントタウン構想」では、川崎フロンターレが進めるスポーツ普及活動と健康プログラムをベースに川崎市内の各拠点から、新しいコミュニケーションの形をご提案します。

Anker フロントタウン生田 施設ガイド



- 凡例
- トイレ JIS Z 8210
 - 子どもお手洗
 - バリアフリートイレ
 - オストメイト対応
 - 乳幼児用設備
 - 介助用ベッド
 - スロープ
 - 駐車場
 - 駐輪場(自転車)
 - 駐輪場(バイク)
 - AED
 - バス停

駐車場・駐輪場

自動車

利用可能台数：101台
(うち2台、車椅子対応)

入出庫可能時間：7:00～23:00



タイムズの駐車場をご利用いただけます。車椅子対応のスペースもご用意しています。駐車場情報、料金などの詳細は左記の二次元コードをご確認ください。



■免責事項

本マップの内容は、2023年4月22日時点の情報を基に作成し発行しておりますので、発行後の工事等によって変更が生じ、現況と異なる場合があります。また、本マップで掲載された内容・情報に起因する損害等については、富士通株式会社、株式会社川崎フロンターレは賠償等いたしませんので、予めご了承ください。

自転車

利用可能台数：134台
北側：50台
南側：84台



バイク

利用可能台数：20台
駐輪場内：9台
南側駐輪場内：11台

施設予約方法

オンライン予約は「LaBOLA」で！

Anker フロントタウン生田ではオンライン予約システム「LaBOLA」を導入しています。スマホやPC、タブレットなどから、24時間・オンラインでのご予約はもちろん、施設の空き情報などのメール配信もあります。予約の際は、LaBOLA メンバーにご登録ください。

▼「Anker フロントタウン生田」専用予約ページ



「LaBOLA」予約対象施設（2023年3月現在）

- Anker フィールド
- Nebula フィールド
- スタジオA/B
- Soundcore アリーナ
- ミーティングルーム

※その他の施設についてはお電話や現地窓口にてお問い合わせください。

電話でのご予約、その他問い合わせはこちら

LaBOLA 予約対象施設および非対象施設とも、お電話でのご予約も受け付けております。下記、Anker フロントタウン生田管理事務所までご連絡ください。

TEL. 044-328-5771

(電話受付時間 10:00～20:00)

Anker フロントタウン生田 施設紹介



約48,000㎡におよぶ広大な生田の地に、多彩な施設をゆったりとレイアウトしています。さまざまな使い方、楽しみ方に対応する総合スポーツ施設です。サッカーをはじめ未来のスポーツ界を担う子どもたちの育成の拠点となることはもちろん、地域の集いの場を市民の皆さんに提供し、人びとの健康促進や青少年育成、災害時の一時避難場所、防災の拠点としての機能も併せもつなど、多面的な価値を地域に提供することを目指しています。

Anker フィールド / Nebula フィールド

施設内の北西に位置するAnker フィールドと南にあるNebula フィールドは、質の高い、ロングパイル人工芝を使用しています。それぞれサッカー1面、少年サッカー2面の利用が可能で、ナイト設備も充実。Nebula フィールドではラクロスも実施可能。ウォーミングアップ時や大会開催時の運営スペースとして利用できるマルチスペースもあります。



生田ふれあい広場（川崎市上下水道局整備エリア）



のんびり寝転んだりくつろいだりできる芝生エリア、誰もが遊べて楽しめるインクルーシブ遊具エリア、生田浄水場周辺の地下水を利用した噴水エリア、ストレッチや軽い運動ができる健康遊具エリアなど、誰もが気軽に憩える広場になります。震災時には、一時避難場所として利用することができ、開設不要型応急給水拠点やマンホールトイレも備えています。

共生

インクルーシブ遊具とは

「仲間外れにしない」「みんな一緒に」という考えのもと、障がいの有無にかかわらず、誰もが違いを飛び越えて、楽しさを感じられる遊具の総称です。車椅子に乗ったまま遊べる仕掛けがあったり、姿勢の保持が難しい方でも一緒に楽しめる回転遊具があります。



防災

マンホールトイレとは

案内看板がある箇所には、災害時にマンホールトイレが設置されます。マンホールの上に簡易な便座や囲いを設置し、安心して利用できるトイレを素早く用意することができます。

